

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	プリンスメロン70a（大型トンネル40a、ハウス30a）、抑制メロン（ベネチア）30a、秋冬キャベツ40a、水稻200a
自家労働	2.5人
その他	鳥取型低コストハウスは補助事業を活用（1/2補助）

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次		◎————□□□□□□□□□□											

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、○トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (f) × (G) × 利率
作業場	木・瓦	40 m ²	2,520,000	15	378,000	378,000	15	25,200	8	176,400	20	1,411
鳥取型低コストハウス	6×50m	10 棟	8,775,000	50	4,387,500	4,387,500	10	438,750	5	2,193,750	20	17,550
トラクタ	20ps	1 台	1,805,760	9	159,332	159,332	7	22,762	4	68,285	20	546
ロータリ	140cm	1 台	416,880	9	36,784	36,784	7	5,255	4	15,764	20	126
管理機	3.5ps	1 台	223,560	22	48,065	48,065	7	6,866	4	20,600	100	824
動力噴霧機	6.0ps	1 台	281,880	25	70,470	70,470	7	10,067	4	30,201	100	1,208
運搬車	6.3ps	1 台	462,240	25	115,560	115,560	7	16,509	4	49,526	100	1,981
軽トラック 4WD 5MT	660cc	1 台	1,050,000	9	92,647	92,647	4	23,162	2	46,324	100	1,853
建物・構築物計			#####		4,765,500	4,765,500		463,950		2,370,150		18,961
機械・器具計			4,240,320		522,858	522,858		84,620		230,700		6,538
合計			#####		5,288,358	5,288,358		548,570		2,600,850		25,500

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
メロン	プリンス	ハウス	2,500kg	畑地	30a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					燃 料 消費量 (ℓ/10a)	
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間				
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間		
定 植 準 備	12/中	堆 肥	500kg	軽トラック	①有機物施用	0.5	2	18.0	ガソリン 1.1	
		もみ殻	1,000kg	トラクタ	全面に散布し、耕耘する。	2.0	1		軽油 4.0	
	2/中	過石	30kg	人力、運搬車	②施肥、作畦 土壌改良材等を施用し、耕耘し、畦を作る。	1.0	1	24.0	ガソリン 2.0	
		ランカク	80kg	トラクタ		2.0	1		軽油 4.0	
		バイオノ有機S	80kg	ロータリ						
		ソイルテック	20kg	管理機						
		ネトリンエース粒剤	20kg	灌水装置						
	2/下	クレマト乳剤	300cc		③マルチ、トンネル 十分に灌水した後、除草剤を散布しマルチする。2重トンネル被覆を行い地温を上げる。 霜の恐れのある場合、古ビニール等 を利用し被覆する。	0.5	1	26.0	軽油 0.5	
		トンネル支柱 外	160本			0.5	2		ガソリン 0.5	
		〃 内	150本							
古ビニール		400m								
定 植	3/上	ポット苗	570本	人力	①浅植えし、ダイヤキャップをかぶせておく。		3	24.0		
		ダイヤキャップ	570枚							
温 度 管 理	3/上～6/下			人力	①活着したらダイヤキャップを取り除き内トンネルから順次開閉して適温に管理する。 ②収穫前には裾も開放する。		1	68.0		
整 枝	3/上～6/下			人力	①親づるは本葉4～5枚で摘心する。 ②子づるは揃った3本を残し、20～25節前後まで伸ばして摘心する。 ③着果孫づるは着果節より先1葉残して摘心し、着果節のひ孫づるは着果後早めに除く。		2	72.0		
		追肥、中耕、灌水、敷わら	3/中		灌水装置	①ダイヤキャップ除去後、灌水する。	0.5	1	1.0	軽油 2.0
			3/下	ソイルテック	10kg	管理機	②子づるの本葉10枚の頃、通路の肩に追肥をして中耕し、わらを薄く敷く。	1.0	2	10.0
追肥、中耕、灌水、敷わら	4/上	ソイルテック	10kg		③開花前に通路に2回目の追肥をし、かん水する。	1.0	1	2.0		
	6/上	ソイルテック	20kg		④1番花収穫後3回目の追肥をし、かん水する。	1.0	1	4.0		
	ホルモン処理、灌水	4/中	ジベレリン液剤	20cc	人力	①子房部散布または塗布する。株当たり9果を目標とする。 ②着果後灌水する。		1	28.0	
		4/下	トマトトーン	20ml	灌水装置		2.0	1	5.0	軽油 2.0
玉直し・摘果	4/下	メロシート	5,000枚	人力	①開花後、15日頃シートを敷き、玉直しをする。不良果は摘果する。			24.0		
収穫・出荷	6/下			人力	①開花後35日前後に果皮色、果梗の離層、葉の枯れ具合から収穫適期を判断する。 ②朝収穫し、汚れた果実は布で拭いて出荷する。	16.0	1	88.0	ガソリン 35.0	
	5/下～7/中			軽トラック						
病虫害防除	3/上～7/中	アクタラ粒剤5	1,140g	人力	①定植時、株当たり2gのアクタラ粒剤を処理する ②交配前、交配後の防除を行う。 ③菌核病、うどんこ病、アブラムシに注意する。	10.0	2	21.0	ガソリン 10.0	
		ウララDF	300g	動力噴霧機						
		ロブラー水剤	600g	軽トラック						
後片づけ	7/下			人力	①茎葉は外へ出す。マルチは回収する。			32.0		
合 計										
								447.0		

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明
粗収益	主産物価額③	1,262,500	生産量①： 2,500 kg 単価②： 505 円/kg
	主産物価額	0	生産量： 単価：
	主産物価額	0	生産量： 単価：
	副産物価額④	0	
	計 (A)	1,262,500	
生産原価	種 苗 費	90,060	
	肥 料 費	29,929	使用資材等は技術体系のとおり
	農 薬 費	25,477	〃
	諸 材 料 費	102,036	〃
	動力光熱費	11,118	
	農 具 費	7,055	機械負担価額×4%
	建物等修繕費	40,185	建物・構築物負担価額×1%
	賃 料 料 金	0	
	共 済 掛 金	4,250	
	雇 用 労 賃	19,333	
	減価償却費⑤	182,857	別表のとおり
	土地改良費	2,500	
	支払地代⑥	0	
	小計 (B)	514,800	
販売費一般	出荷資材費	46,875	
	販 売 諸 費	241,711	
	諸税負担金	2,836	農協賦課金、車検料、固定資産税
	事務研修費	3,765	農業新聞購読料、電話代
	支払利息⑦	13,089	借入資本利率2%
	小計 (C)	308,276	
経 営 費 (D)	823,076	注) (D) = (B) + (C)	
家族労働費見積額 ⑧	526,110	農 従 労 働 時 間： 398.8 生産管理労働時間 5.9 1,300 円/時間	
支払利子・地代算入生産費(E)	1,349,186	主産物単位当たり 540 円/kg 注) (E) = (D) +⑧-④	
自己資本	流動資本利子⑨	23,065	注) ⑨= ((E)-⑤-⑦) / 2 × 0.04
利子(F)	固定資本利子	8,500	利率4%
自 作 地 地 代 (G)	3,600		
全算入生産費 (H)	1,384,351	生産物単位当たり 554 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)	
所 得 (I)	439,424	時間当たり 1,086 円 注) (I) = (A) - (D)	
所 得 率 (J)	35	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100	
農企業利潤 (K)	-121,851	注) (K) =③- (H)	
家族労働報酬 (L)	404,259	時間当たり 999 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)	
農業資本利潤 (M)	-86,686	注) (M) = (I) -⑧	

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
定植準備					24.0	26.0																															18.0		68.0	
定植								24.0																															24.0	
温度管理								4.0	10.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0																										44.0
整枝								4.0	8.0	8.0	8.0	16.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0																					72.0
追肥・中耕・灌水・敷ワ									1.0	10.0	2.0						4.0																							17.0
ホルモン処理・灌水											28.0	5.0																											33.0	
玉直し・摘果												12.0					12.0																						24.0	
収穫・出荷															8.0	22.0	20.0	15.0	15.0	8.0																			88.0	
病害虫防除								3.0			3.0	3.0	3.0		3.0		3.0		3.0																					21.0
後片づけ																					32.0																		32.0	
																																							0.0	
																																							0.0	
																																							0.0	
																																							0.0	
																																							0.0	
																																							0.0	
																																							0.0	
																																							0.0	
																																							0.0	
																																							0.0	
																																							0.0	
																																							0.0	
計	0.0	0.0	0.0	0.0	24.0	26.0	35.0	19.0	24.0	19.0	53.0	30.0	10.0	7.0	12.0	33.0	36.0	22.0	15.0	8.0	32.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.0	0.0	423.0			